

国民の世論と運動で、「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

# ほっかいどうの社会保障

2014年2月20日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

2.23集会・パレードまであと3日

誘い合って参加しましょう！

## いのちとくらしが危ない！ 悪政をストップさせよう！



2.23集会まで、あと3日となりました。悪政をストップさせ、いのちとくらしを保障させるために、集会・パレードを成功させましょう。

午後から行われる総決起集会は、吉田万三氏（中央社保協代表委員・全日本民医連副会長）のメイン報告に続き、5人からのリレートークを予定しています。

◆年金生活者・◆生活保護利用者・◆労働者・◆障害者・◆業者の代表

総決起集会は、2月23日（日）13時30分開場 かでの2.7ホール 集会後パレード

### 「弱い者いじめはやめてください」 伊賀理香子さんが生活保護問題で報告

昨年8月から生活扶助費（1回目）が引き下げられましたが、これに対する不服審査請求は道内でも1373件となりました。11月から冬期加算、期末一時扶助も引き下げられ、灯油高も重なり、生活保護利用者も深刻な生活をしています。

今回は、娘さんと二人暮らし伊賀理香子さんが報告します。（10月に行われた不服審査請求の口頭意見陳述の一部を紹介します）



私は、9歳の娘と二人暮らしです。娘が3歳の時に夫のDVで、着の身着のまま家を出て、生活保護を受けました。いろいろな仕事に着きましたが、心身ともに疲れ果て、重度のうつ病で、働くことはできないと診断され、今も通院しています。

（昨年）8月から生活保護費が減額されました。これから、どうしていけば良いのかと、不安ばかりがよぎり、一日一日苦しい気持ちでいっぱいです。

今でまででさえ食費を切り詰め、娘の学用文具は百円

均一、洋服は友人から頂いた物、私の時代と違って音楽の楽器も買わなければなりません。書道、絵の具、そして遠足には交通費のバス代800円等、目に見えないお金がどんどん出費します。娘の将来が心配です。

保護費削減、消費税アップは絶対やめてもらいたく、皆様と一緒に戦っていきたくと思っています。

弱い者いじめは、やめてください。明るく笑顔で過ごせる生活に戻してください。心からお願い致します。

### 二度と繰り返さない 白石姉妹孤立死から2年 稲葉氏を迎え、生活保護問題で市民集会 会場いっぱいの参加



2月1日、「白石姉妹孤立死から2年 どうなるか？生活保護『改革』」市民集会が行われ、稲葉剛氏（NPO法人立生活サポートセンター・もやい理事長）の講演と、反貧困ネット北海道の松本伊智朗代表との対談が行われました。会場いっぱいの360名が参加しました。

生活保護支給日 宣伝  
各地で行いましょう

2月27日（木）  
8時45分～  
札幌市東区役所前で行います

安心できる介護制度の実現を求める市民集会は10時から。かでの2.7ホール 集会後パレード